



市政記者クラブ加盟社 各位

原敬 100 回忌特別企画展 後編「政界への雄飛」

2020 年は原敬の 100 回忌、2021 年は没後 100 年にあたります。

これを記念し、原敬の業績と生涯を前後編に分けて紹介する特別企画展を開催します。

後編では新聞経営者から政界へ進出した 40 代から、総理大臣のまま非業の死を遂げた 65 歳までの後半生を採り上げます。原のご遺族やご親族が所蔵されている資料を多数公開しますので、ぜひご来場下さい。

なお、この展示は当初、令和 2 年度に開催する予定でしたが、covid-19 の感染拡大により、今年度に延期となりました。

記

【日 時】令和 3 年 10 月 30 日（土曜日）～令和 4 年 1 月 23 日（日曜日）
9 時 00 分～17 時 00 分まで（入館は 16 時 30 分まで）

【休館日】毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

【場 所】原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

【内 容】主な展示資料

- ・原敬書「寶積（ほうじやく）」（自由民主党本部蔵）
晩年の原が好んで書にした言葉。岩手初公開。
- ・原家日誌（原敬文書研究会蔵）
別邸「介壽荘」管理者の日誌。原へ脅迫状のようなものがあつたこと等を伝える。盛岡では 25 年ぶりの公開。
- ・原敬遺書（原敬文書研究会蔵）
大正 10 年(1921)2 月 20 日付。死を覚悟して国政に臨んでいたことが分かる。盛岡では 15 年ぶりの公開。
- ・原敬遭難時着用の服（当館蔵、大慈会寄贈）
原が東京駅で暗殺された時に着ていた服。



原敬書「寶積」



原敬遺書

【費 用】小・中学生 50 円、一般 200 円、市内在住で 65 歳以上の方は無料

【主 催】原敬記念館（所管：盛岡市教育委員会）・公益財団法人盛岡市文化振興事業団・原敬 100 回忌記念事業実行委員会

【問い合わせ先】

原敬記念館
指定管理：公益財団法人盛岡市文化振興事業団
担当：田崎農巳
TEL：019-636-1192

原

敬

原敬100回忌 特別企画展

政界への
雄飛
(後編)

HARA TAKASHI
1856 - 1921

HARA KEI
Memorial Museum
SPECIAL EXHIBITION

(会場)

原敬記念館

小ホール/企画展示コーナー

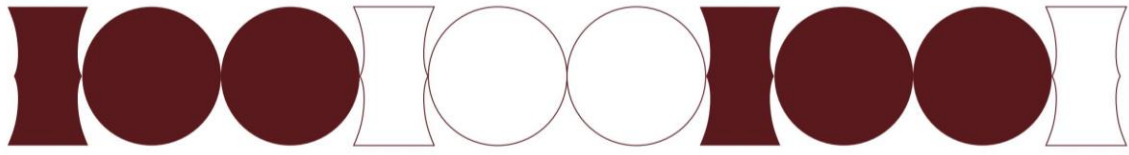


開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで)
休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料/一般200円(団体120円)、
小・中学生50円(団体30円)、
団体料金は30人以上の団体に適用します。

主催/原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会、
公益財団法人盛岡市文化振興事業団、
原敬100回忌記念事業実行委員会)
共催/原敬を想う会

お問い合わせ/
原敬記念館(指定管理公益財団法人盛岡市文化振興事業団)
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

令和3年10月30日(土)から令和4年1月23日(日)まで



原敬100回忌 特別企画展

政界への 雄飛

(後編)



岩手初公開
原敬書「積善」(自由民主党本部蔵)
晩年の原が好んで書にした言葉で、仏教の経典「宝積経」による。意味は「人に尽くして見返りを求めない」。



原敬遭難時着用
の服
(当館蔵)
大正10年(1921)11月4日、東京駅で暗殺された時に着ていた洋服。血液の跡が今も残る。



「原敬日記」原本 附絶筆メモ4枚・本箱1台 (当館蔵)
19歳から65歳までつけていた日記。全83冊。日本近代政治史の一級資料として知られる。岩手県指定有形文化財。

令和2年(2020)は原敬の100回忌にあたります。そこで当館では平成30年度より「原敬100回忌記念事業実行委員会」と共に様々な記念事業を計画、準備を進めて参りました。この特別企画展は、同事業の一環として、広く原敬の業績や生涯を紹介するものです。後編では主に政治家として活躍した後半生を探り上げます。なお、この展示は当初、令和2年度に開催する予定でしたが、covid-19の感染拡大により、今年度に延期となりました。

●関連イベント 担当学芸員による展示解説
日時/令和3年11月20日(土)、12月18日(土)、令和4年1月23日(日) いずれも13:30~14:15
開催日2週間前の10:00から電話にて受付(先着10人)



原敬遺書(原敬文書研究会蔵)
大正10年(1921)2月20日付。死を覚悟して国政に臨んでいた原が家族に遺したもので、虚飾を飾らぬ原の人物がよく表れている。

原敬 | 1856-1921

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村に生まれる。盛岡藩士・原直治の二男。藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。



(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

◎石川啄木記念館
第15回企画展「啄木と鉄道」
2021年9月28日(火)~令和4年1月23日(日)

◎盛岡てがみ館
盛岡てがみ館開館20周年記念
第63回企画展「台湾と岩手の先人たち」
2021年10月5日(火)~令和4年2月7日(月)

◎盛岡市先人記念館
第64回企画展「杉村濬・陽太郎-日本と世界をつないだ外交官-」
2021年9月11日(土)~12月5日(日)

利用案内 開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日(水)~1月3日(月))
入館料/一般200円(団体120円)、小・中学生50円(団体30円)
団体料金は30人以上の団体に適用します。

指定管理 公益財団法人盛岡市文化振興事業団
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL 019-636-1192
FAX 019-636-1185



ご来館の際は、マスクの着用・手指の消毒などcovid-19対策にご協力をお願いします。なお、感染症の拡大状況によっては本展覧会より開催イベントが中止・変更となる場合もあります。当館のウェブサイトやSNSにて最新の情報をご確認ください。



バス/①「原敬記念館前」下車
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分
盛岡駅発着 盛南ループ200
・矢巾営業所行 本宮線・羽場線
タクシー/盛岡駅より約5分

